

# 2021年度 GSK ジャパン研究助成

## <目次>

### ◎ 募集要項

1. 研究助成の趣旨
2. 応募者の資格および条件
3. 募集する分野・対象疾患 / 研究領域
4. 助成対象外の研究
5. 応募方法
6. 募集期間
7. 助成金額および助成件数
8. 助成する研究の期間
9. 審査
10. 採択結果の通知と公開
11. 助成金の交付方法と期日および使用期間
12. 助成金の使途
13. 研究報告および会計報告
14. その他
15. 作成・改訂履歴

### ◎ 研究助成申請時の留意事項

1. 応募方法
2. 研究計画作成時の留意事項
3. 問い合わせ先

# 2021 年度 GSK ジャパン研究助成 募集要項

## 1. 研究助成の趣旨

「GSK ジャパン研究助成」は、医学・生命科学および関連する科学の領域における若手研究者の研究を支援します。

## 2. 応募者の資格および条件

- 2.1 応募する研究の代表者であること
- 2.2 2021 年 4 月 1 日現在で、44 歳以下（生年月日が 1976 年 4 月 2 日以降）であること
- 2.3 所属する研究機関\*の所属長（部局長）の了解を得ていること（例：大学の場合は教授もしくはそれ以上の役職者（医学部長、学長等）、病院の場合は病院長等）
- 2.4 研究機関に、当該研究機関の研究活動を行うことを職務に含む者として、所属する者であること（有給・無給、常勤・非常勤、フルタイム・パートタイムの別を問わない）
- 2.5 当該研究機関の研究活動に実際に従事していること（研究の補助のみに従事している場合は除く）
- 2.6 大学院生等の学生でないこと
- 2.7 寄付講座に所属する者でないこと
- 2.8 2014～2020 年に「GSK ジャパン研究助成」の助成を受けていない研究者であること

※：科学研究費補助金取扱規程（文部省告示、文部科学省改正）第 2 条に規定される研究機関

### 3. 募集する分野・対象疾患 / 研究領域

以下の分野に対応する対象疾患/研究領域に関する研究が募集対象となります。

分野	対象疾患 / 研究領域
A. 呼吸器疾患※ <sup>1</sup>	気道閉塞性疾患（慢性閉塞性肺疾患など） アレルギー性肺疾患（気管支喘息など） 間質性肺疾患（薬剤性間質性肺炎は除く） 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症※ <sup>2</sup>
B. 泌尿器疾患※ <sup>1</sup>	前立腺肥大症 過活動膀胱 神経因性膀胱 膀胱炎 腎盂腎炎 前立腺炎 精巣上体炎（副睾丸炎） 尿道炎
C. 膠原病	全身性エリテマトーデス 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症
D. ウイルス性疾患	ヒトロタウイルス感染症 水痘・帯状疱疹ウイルス感染症 ヒトパピローマウイルス感染症 狂犬病ウイルス感染症 コロナウイルス感染症
E. がん領域	腫瘍免疫 細胞療法

※<sup>1</sup>：「がん」にかかわる研究は対象といたしません。分野「E. がん領域」をご参照下さい。

※<sup>2</sup>：分野「C. 膠原病」において審査されます。

#### 4. 助成対象外の研究

	助成対象外	助成対象になる研究 / 必要な作業
4.1	日本国内で行われない研究	
4.2	同一の研究について他の助成金を受けている研究※1	
4.3	企業あるいは複数の研究機関による共同研究※2	
4.4	すでに実施済みの研究、もしくは現在進行中の研究	
4.5	過去に採択された同教室からの類似した研究※3	
4.6	弊社および他社で開発中の薬剤・機器もしくは販売している製品や有効成分を使用する研究	確立された方法で疾患モデルを作成するために使用する場合は認められることがあります。 ※4
4.7	疫学調査・疫学研究	
4.8	臨床試験・臨床研究	
	1) 通常の診療を超えた医療行為が含まれる場合（研究を目的として侵襲的に新たな試料を採集する場合等）	左記に該当しない場合で、通常の診療行為で得られるその他のヒト由来のサンプル（組織、血液、尿、DNA等）を使用する研究は助成対象とします。ただし、所属する研究機関の倫理委員会の承認が確認できる書類をご提出ください※5。
	2) 被験者の集団を2群以上のグループに分け、グループ間で効果等を比較する場合	
4.9	胚または胎児の組織や細胞およびそれらから生成される細胞株を使用する研究	<b>WI-38, MRC-5, HEK-293, IMR-90, SVGp12, SVG-A, Per.C6</b> については研究対象とします。

※1：弊社以外の研究助成への応募を妨げるものではありませんが、弊社以外に応募をされる際は、その旨記載ください。なお、他の助成を受ける場合は弊社の助成対象者から除外されますので、他の助成を受けることが決定した場合は、速やかに当事務局にご連絡ください。

※2：複数の研究機関に助成金を分配して使用する場合を指します。

※3：審査委員会にて決定されます。

※4：研究の中で製品または開発品を使用される場合は、**医薬品名、一般名もしくは治験薬コード番号（例：GSK000000）**で具体的に記載してください。入手先または購入先を具体的に記載してください。独自開発の場合はその旨を記載してください。具体的な記載がない場合、審査に回付されないことがあります。

※5：倫理委員会の承認を確認できる書類が申請締め切り（2021年5月7日）までに提出されない場合は申請を受け付けることはできません。

## 5. 応募方法

- 5.1 募集要項に従って、2021年度 GSK ジャパン研究助成 Website にある GSK Japan Research Grant Navi からご応募ください。
- <https://jp.gsk.com/jp/research/glaxosmithkline-research-grant-2021/>
- 5.2 ご応募できる件数は1研究者1件のみとなります。
- 5.3 同じ研究機関、教室からの応募件数に制限はありませんが、過去の助成研究あるいは同年に同じ研究機関、教室からの類似研究があった場合は、審査委員会の審議対象とします。
- 5.4 上記リンク内にある「研究計画フォーマット」をご使用の上、研究計画を作成してください。また、＜申請の流れ＞および P.10 の「研究助成申請時の留意事項」も必ずご参照ください。

### ＜申請の流れ＞



## 6. 募集期間

2021年3月1日（月）～2021年5月7日（金）15:00まで

申請締切日はアクセスが集中します。締め切りまでに適切に応募手続きが完了しない場合は応募を受け付けることはできかねますので、余裕を持って応募手続きを行ってください。

## 7. 助成金額および助成件数

助成金額は、1研究に対して200万円以内とし、助成件数は予算に応じて決定いたします。

## 8. 助成する研究の期間

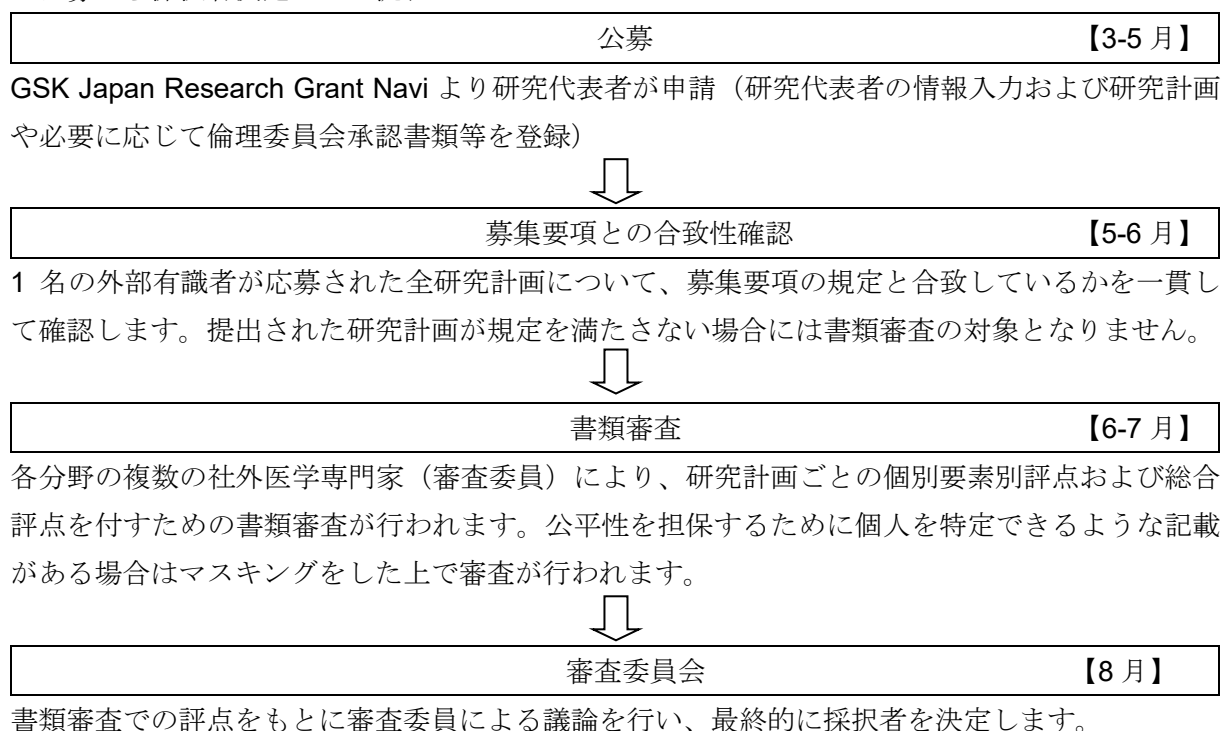
開始：「10. 採択結果の通知と公開」に記載する採択結果通知の受領後からとします。

終了：2023年3月31日までとします。

## 9. 審査

- 9.1 GSK Japan Research Grant Navi から登録された情報および提出された書類が本要項を満たさない場合には審査の対象となりません。
- 9.2 提出いただいた資料をもとに、分野ごとに社外医学専門家で構成される審査委員会にて審査されます。
- 9.3 審査は、「研究課題の独創性および革新性」、「研究計画・方法の妥当性」、「研究課題の学術的重要性・妥当性」、「研究課題の波及効果および普遍性」ならびに「研究経費の妥当性」の観点で行われます。
- 9.4 審査にあたり研究代表者の業績・研究略歴を考慮した研究遂行能力も審査の対象となります。
- 9.5 グラクソ・スミスクライン株式会社の営業部門と独立した部門の社員が書類審査における評点集計および審査委員会に参加いたしますが、審査には一切関わりません。

<公募から採択者決定までの流れ>



## 10. 採択結果の通知と公開

2021年10月下旬までに、申請者宛てに審査委員会の評価結果および採択結果の通知を送付いたします。その際、採択者には助成金の使途に関する確認書を同封しますので、ご署名の上、提出をお願いいたします。なお、個別の審査内容の詳細についてのお問い合わせに応じることはできません。

弊社ホームページ上で採択者の氏名、所属機関名、研究課題名を公開いたします。

## 11. 助成金の交付方法と期日および使用期間

交付方法：所属機関が指定する口座に助成金を振り込みます。

交付期日：2021年11月～12月を予定しております。ただし、各研究機関の手続きの状況により前後する可能性があることをご了承くださいますようお願いいたします。

使用期間：「10. 採択結果の通知と公開」に記載する採択結果通知の受領後から、助成する研究期間の終了日（2023年3月31日）までとします。

## 12. 助成金の使途

応募者はあらかじめ下記の点について、所属する研究機関からの合意を得てください。

12.1 申請内容通りの使用を原則とし、研究期間内に使い切ることにします。

12.2 助成金は応募者が所属する研究機関のみに振り込まれ、その研究機関のみで使用することとします。

12.3 助成金を使用できるのは研究代表者本人のみであり、他の研究者が助成金を使用することはできません。また、助成された研究を他の研究者に引き継ぐこともできません。研究代表者が所属の研究施設から他の施設に異動する際は、弊社研究助成事務局までご連絡ください。

12.4 助成金を使わなかった場合、または助成金が余った場合は、原則、返却していただきます。

12.5 助成金の使途を変更する場合、または助成金対象の研究内容に重要な変更が生ずる場合は、速やかに使途変更届を当事務局に提出してください。提出いただいた内容について審査し、結果をご連絡いたします。

12.6 この助成金による研究に関連性のない経費に助成金を使用することはできません。研究に関連性のない経費事例を以下に記載します。判断に迷う場合は研究助成事務局に事前にご確認ください。

<研究に関連性のない経費事例>

- ・建物等の施設・設備の整備費用
- ・高額機器等の価格の一部を賄う費用
- ・機器の修理費用
- ・通常備えるべき什器（机・椅子等）
- ・複数台のPC、スマートフォンおよび電子機器類
- ・電子機器にかかる回線費用
- ・研究代表者および共同研究者ならびに職員の人件費<sup>※1</sup>
- ・本研究助成による研究の発表を行わない国内学会または海外学会の参加費、旅費<sup>※2</sup>
- ・研究代表者以外の国内学会または海外学会の参加費、旅費<sup>※2</sup>
- ・学会年会費
- ・「GSK ジャパン研究助成 2021（英文名：GSK Japan Research Grant 2021）」との記載のない論文投稿、スライド等製作関連費用

※1：本研究のための補助員費用は使用可としますが、会計報告書にて雇用期間・費用などを報告いただきます。

※2：助成者本人が助成対象である研究を発表された旨が記載されている抄録、またはプログラムをご提出いただきます。

- 12.7 原則として設備備品の取得価格が 50 万円以上かつ耐用年数が 1 年以上の物品の購入には本助成金を使用できません。
- 12.8 研究経費全体の中で「旅費」の占める割合が 15%以内、「その他」の占める割合が 10%以内になるようにしてください。なお、「その他」については具体的な用途をすべてご記載ください。
- 12.9 間接経費免除（オーバーヘッド）の取り扱いは、採択通知を受領された際にお申し出ください。ただし、「13. 研究報告および会計報告」に規定の通り、各研究機関で通常行われているレベルの会計報告を要しますので、免除に該当するかについては研究機関の担当部署にご確認ください。

### 13. 研究報告および会計報告

#### 研究報告：

- ・ 2023 年 4 月末までに**研究経過報告書**を当事務局宛てに提出することを必須とします。
- ・ 2023 年 9 月頃、研究の最終成果物を共有させていただき目的で研究報告書を作成いたしますので、上記研究経過報告書とは別に**研究報告書**の提出も必須とします。特に優れた研究成果につきましては別途、学会での研究発表などを依頼する場合がありますのでご了承をお願いいたします。
- ・ 助成された研究を含む成果を外部に発表される場合は“**GSK ジャパン研究助成 2021（英名：GSK Japan Research Grant 2021）**”による 研究助成であることを明記していただき、発表された論文の別刷または学会発表のアブストラクトを当事務局宛てご提出ください。

#### 会計報告：

- ・ 2023 年 4 月末までに**会計報告書**を当事務局宛てに提出することを必須とします。会計報告書の書式は任意ですが、購入日、購入物品名、型番、数量、購入単価、購入先等の詳細をご記載いただくをお願いいたします。また、要請があった場合は再提出をお願いいたします。
- なお、報告の際に証ひょう類は添付不要ですが、監査等で確認をすることがありますので貴研究機関にて保管をお願いいたします。

### 14. その他

- 14.1 助成対象者として相応しくない行為があったときは、助成をやめたり、研究助成金の返還を求めたりすることがあります。
- 14.2 個人情報 は本研究助成に関連する業務にのみ利用し、必要な範囲に限定して適切に取り扱います。
- 14.3 本研究助成に関しては、「グラクソ・スミスクライン株式会社 医療機関および医療関係者との関係の透明性に関する指針」に則り、弊社ホームページ上で研究助成先（施設名および教室・講座名）・氏名・研究助成金額等の情報開示をさせていただきます。
- 14.4 2021 年度 GSK ジャパン研究助成の審査委員については、研究助成期間終了後、2023 年 4 月以降の公開を予定しております。



## 15. 作成・改訂履歴

新規作成：2020年11月30日作成

以上

NP-JP-NA-BKLT-200001

## 研究助成申請時の留意事項

応募に際しては、「募集要項」を熟読の上、以下の事項に従ってください。

### 1. 応募方法

2021 年度 GSK ジャパン研究助成 Website をご確認ください、GSK Japan Research Grant Navi から申請手続きを行ってください。

なお、申請には下記書類の提出が必要です。あらかじめ 2021 年度 GSK ジャパン研究助成 Website からテンプレートをダウンロードしていただき、書類を作成していただく必要があります。

#### 提出資料 (PDF)

- 「研究計画」
- (必要な場合)「倫理委員会承認資料」

#### 2021 年度 GSK ジャパン研究助成 Website

<https://jp.gsk.com/jp/research/glaxosmithkline-research-grant-2021/>

**[申請締め切り：2021 年 5 月 7 日 (金) 15:00]**

### 2. 研究計画作成時の留意事項

- 研究計画は、【概要】および【略語】(A4 サイズ 1 ページ以内)、【詳細】(A4 サイズ 4 ページ以内) で構成してください。  
上記ページ数を超える場合は審査の対象となりませんので、ご注意ください。
- 研究計画に略語を使用して記載する場合は、略語の意味を記載してください。  
例) DGL : dendrigraft poly-L-lysine
- 研究計画の【詳細】には、研究の意義<sup>\*</sup>、目的、方法、ならびにスケジュールを記載し、フローチャートや図表を用いるなどわかりやすい記述となるようご注意ください。  
※過去の関連した研究とのつながりや既に助成されている研究との違いが分かるように記載してください。
- 研究計画の【詳細】に記載する製品または開発品、使用する細胞株などについては、品名(医薬品名、一般名、治験薬コード番号など)、入手先または購入先を具体的に記載してください。独自開発の場合はその旨を記載してください。具体的な記載がない場合、審査に回付されないことがございます。  
例) HEK293 (株式会社○△×)、IL-5抗体(独自開発)
- フォントは日本語を「MSP ゴシック」、英数字を「Arial」とし、サイズは「10.5 ポイント」で作成してください。
- 余白および行間隔の設定は変更しないでください。
- 研究代表者(申請者)を特定できるような記載(氏名、所属、論文の著者名等)はしないでください。情報を記載する際は、「申請者は」「著者は」などのように記載してください。
- 応募受付サイトにアップロードしていただく PDF は 2M バイト以内で作成をお願いいたします。

### 3. 問い合わせ先

申請者はアカウントを登録後、GSK Japan Research Grant Navi の問い合わせフォームよりお問い合わせください。

申請者以外の方による本要項等に関するお問い合わせは、下記メールアドレスへ直接ご連絡ください。

よくあるご質問として FAQ を GSK Japan Research Grant Navi に掲載しておりますので、お問い合わせ前に一度ご参照ください。

グラクソ・スミスクライン株式会社

GSK ジャパン研究助成事務局

メールアドレス：[jp.grant-ex@gsk.com](mailto:jp.grant-ex@gsk.com)

なお、弊社の営業部門に所属する社員は、利益相反の観点から本研究助成に関するお問い合わせを受けることはできませんのであらかじめご了承ください。

以上

#### ◎外部委託

株式会社シーエーシーの Academic support navi を使用して一括管理いたします。

#### ◎申請内容の秘密保持

審査委員および研究助成に関する業務にあたる GSK 社員は、申請内容に関する秘密保持の義務を持ちます。

#### ◎個人情報に関する取り扱い

ご入力・ご記入いただいた個人情報は、研究助成に関する業務に利用させていただきます。また、個人情報の保護に関する法律、関連諸法令、関連省庁等のガイドラインを遵守し、当社プライバシーポリシーに則って適切に取り扱います。

当社プライバシーポリシーは、次のホームページからご確認ください。

<https://jp.gsk.com/jp/privacy-policy/>

NP-JP-NA-BKLT-200001